

事業報告書

1 県民総スポーツの推進に関する事業

(1) 地域団体（市町村体協等）の活性化

①総合型地域スポーツクラブの育成・活動支援

・クラブ育成アドバイザー1名を配置し、未育成市町村を中心に育成支援、活動支援を目的とした事業を実施した。

・クラブリーダーの育成（ドイツのスポーツクラブ視察研修事業）

11月4日～11日（8日間）6名を派遣

・クラブ連絡協議会の活動支援

②地区体協連絡協議会の活動支援（7地区）

(2) スポーツ少年団の育成

①指導者の育成と指導者組織の充実

有資格者 3,745名

②関係機関・団体との連携の強化

③リーダーの養成と活動体制の強化

リーダー会を開催し、リーダーの養成に努めた。

④各種交流事業の充実

山形県スポーツ少年大会 42名参加 8月7日～9日

東北地区スポーツ少年大会 5名参加 7月31日～8月3日

全国スポーツ少年大会 8名参加 8月1日～4日

⑤専門委員会の活動の活性化

企画委員会 3回

普及委員会 2回

活動委員会 2回

指導者育成委員会 3回

(3) 少年スポーツの育成

①少年少女スポーツ交流大会の充実

16種目 4,872名参加

(4) 社会体育指導者の養成と活性化

①公認スポーツ指導者養成講習会の開催

②県スポーツ指導者協議会との連携

山形県スポーツ指導者研修会の開催 10月31日 242名

2 競技力の向上に関する事業

(1) 第64回国民体育大会及び第65回国民体育大会冬季大会のための、強化コーチングスタ

アップ及び強化指定選手の指定

監督・コーチ 67名

選手 316名

(2) 国際競技大会出場選手等に対する激励金の交付

国際大会出場選手等延べ34名、バンクーバー冬季五輪出場選手2名に交付

(3) 「チーム山形」の意識高揚を図るための事業推進

「向上無限」激励旗の作成、贈呈

(4) 山形県スポーツ指導者講習会の開催（共催事業）

期 日 平成21年10月31日

会 場 山形県総合運動公園

参加者数 242名

内 容 講演1「競技におけるメンタルトレーニング」

講師：国立スポーツ科学センター 今井 恭子氏

講演2「トレーニングの実際」

講師：筑波大学 白木 仁氏

研究協議「勝つための④アスリート食～幼少期・成長期・現在～」

講師：東北パイオニア 山口 喜代美氏

山形県立谷地高等学校 竹屋 美紀子氏

山形県体育協会 池田 めぐみ氏

(5) 女子駅伝強化事業

全国都道府県対抗女子駅伝競走大会に出場する本県チームの強化事業の支援

成績 第24位

(6) トレーナー帯同支援事業

競技団体が国体及び東北総体に帯同するトレーナーの旅費の一部を補助し、天皇杯得点獲得に貢献した。

東北総体 水球、剣道、バドミントン、ソフトボール、サッカー、ラグビー
ボクシング、バスケットボール

国民体育大会（本大会） 卓球、剣道、陸上、水球、ボクシング、バスケットボール

国民体育大会（冬季大会） スケート、スキー（アルペン、クロカン、ジャンプ）

(7) スポーツタレント発掘事業

8月5日、山形県スポーツタレント発掘事業「YAMAGATAドリームキッズ」実行委員会設立総会が開催され、本会会長が同実行委員会会長に就任した。

3月13日、同事業の認定証交付式が行われ、第1期生30人に認定証が手渡された。

3 競技強化特別対策事業

(1) 優秀指導者・選手確保事業

スポーツ指導員4名・スポーツ技術員2名を採用し、強化指導の実施や国際大会・全国大会等への派遣等を実施した。

(2) 競技強化支援事業

競技スポーツの強化及び普及を図るため、スポーツ関係団体が実施する各種競技強化支援事業への補助。

(3) 企業スポーツ支援事業

企業スポーツの活性化と競技力向上を図るため、「山形県企業スポーツ振興協議会」への助成を行った。

4 各種大会の開催並びに派遣に関する事業

(1) 第64回国民体育大会県予選会

7月10日～12日（主会期）

38競技 6,886名参加

(2) 県内スポーツフェスティバル（県少年少女スポーツ交流大会）の開催

10月4日（主会期） 県内各地区28会場

16種目 4,872名参加

(3) 第36回東北総合体育大会

8月21日～23日（主会期） 青森県下

38競技 898名参加

(4) 第64回国民体育大会（本大会）

9月26日～10月6日（主会期） 新潟県下

33競技 487名参加

天皇杯得点 898.5点 第27位

皇后杯得点 523.0点 第24位

(5) 第65回国民体育大会県予選会（冬季大会）

（スキー）1月17日～23日

・アルペン 133名参加 最上町赤倉スキー場

・クロスカントリー 63名参加 真室川町秋山クロスカントリー

・ジャンプ・コンバインド 13名参加 山形市蔵王温泉スキー場

（スケート）12月12日 20名参加 山形市総合スポーツセンタースケート場

（アイスホッケー）11月6日 ヒルズサンピア山形屋内スケート場

(6) 第65回国民体育大会（冬季大会）

（スケート・アイスホッケー）

1月27日～31日 北海道釧路市 43名参加

（スキー）

2月25日～28日 北海道札幌市 83名参加

天皇杯得点 113.0点 第13位

皇后杯得点 41.0点 第15位

(7) 国体及び東北総体出場選手に対するユニフォーム作製費補助事業

補助対象人数 353名

作成費総額 2,888,600円

補助金の額 1,254,500円

5 加盟団体育成に関する事業

(1) 競技団体の育成

競技の普及及び強化事業の推進のため、国体正式種目外競技に対し、強化費を交付した。

(2) 地域団体の育成

地区体育協会連絡協議会に対して助成金を交付し、地域スポーツ振興の助成を行った。

(3) 学校体育団体の育成

中体連・高体連の事業に対し助成金を交付し、地域スポーツの振興を図った。

6 広報に関する事業

(1) ホームページの充実を図り、体協活動の積極的な情報の提供を行う

ホームページを活用し、積極的な情報の発信に努めた。タイムリーな情報提供と業務の円滑な推進のためのデータベース化を図った。

(2) 機関誌「スポーツ山形」の発行

「スポーツ山形」60号、61号を作成し、広く情報の発信に努めた。

(3) スポーツ少年団広報誌「大空に翔る」の発行

広報誌「大空に翔る」の発行し、スポーツ少年団活動の普及・啓蒙に努めた。

(4) 総合型地域スポーツクラブ啓発リーフレットの作成

啓発リーフレットを作成・配布し、広く啓発に努めた。

7 顕彰に関する事業

本会の表彰規程に基づく顕彰を実施した。

①殊勲賞	個人	26	団体	8
②奨励賞	個人	18	団体	4
③功労賞	個人	25		
ライオンズスポーツ賞	個人	4		
④感謝状	個人	6		
⑤特別賞	個人	1	団体	1

加藤 条治氏 バンクーバー冬季五輪銅メダル

山形県バスケットボール協会 第64回国民体育大会男女総合優勝

8 財政の確立と組織体制の確立

(1) 財政基盤の確立

賛助会員の拡大を図るとともに、免税募金制度を活用した財源の確保に努めた。

(2) 専門委員会活動の活性化

- ・総務企画委員会
- ・財務委員会
- ・生涯スポーツ推進委員会
- ・競技力向上委員会
- ・スポーツ医科学委員会
- ・広報委員会

(3) 事務局組織体制の活性化

業務内容の見直しとともに、業務の効率的な推進に努めた。

9 スポーツ医科学活動の推進

(1) 日体協公認スポーツドクター及びスポーツプログラマー・アスレチックトレーナーの資格取得促進と活用

(2) 「スポーツ医科学研究報告書」の作成

(3) 国体への帯同ドクターの派遣

国民体育大会本大会、冬季大会にスポーツドクターの帯同を実施した。

(4) トレーナー帯同支援事業

(5) アンチ・ドーピング普及・啓発事業の推進

東北総合体育大会結団式開催日に、アンチ・ドーピング研修会を実施し、監督・コーチングスタッフに対しスポーツ医科学委員会の委員による説明を行った。

10 事故防止と補償制度の活用

(1) スポーツ活動における事故防止の徹底と補償制度の活用促進

(2) 財団法人スポーツ安全協会山形県支部との業務連携

1 1 青少年の健全育成

あらゆるスポーツ活動の機会を通して、フェアプレー精神の高揚を図り、青少年の健全育成に努めた。

1 2 会議開催、出席状況

(1) 会議開催

①理事会	2回
②評議会	2回
③専門委員会	
総務企画委員会	2回
財務委員会	2回
生涯スポーツ推進委員会	2回
競技力向上委員会	2回
スポーツ医科学委員会	1回
広報委員会	1回
④国体県予選会実行委員会・事務局会	2回

(2) 会議出席

①日本体育協会理事会	5回
②日本体育協会評議員会	2回
③日本体育協会加盟団体事務局長会議	1回
④都道府県体育協会連合会総会	1回
⑤都道府県体育協会連合会常任幹事会	2回
⑥都道府県体育協会連合会東地区事務局長研修会	1回
⑦都道府県体育協会連合会事務局職員研修会	1回
⑧東北六県体育関係代表者会議（東北体育協会連合会）	2回
⑨スポーツ安全協会担当体育協会事務局連絡協議会	3回
⑩山形県スポーツタレント発掘事業実行委員会総会	1回